

昭和十九年十二月一日  
沖繩陣中日誌

獨立歩兵才十五聯隊本部

防衛研修所  
戦史室



13 C  
2920-26  
2/4

一月三〇日



會報

一月八日 一六〇〇  
玉城國民學校



一 師團第一回武技競技會ハ來ル一月下旬師團司令部於テ將校  
下士官兵ニ區分シ銃劍術手榴彈投擲種目ヲ實施セラル

豫定ニ付各隊ハ一層之ガ練磨ニ勉メラレ度  
尚實施方法細部ハ追テ示サルハ吉

二 十一大隊ニ於テ火災ヲ起シ兵舎ヲ燒キ爲ニ輕機四小銃一一ヲ  
燒失セリ

各隊ハ特ニ火災豫防ニ注意且常時豫防對策等ヲ構シ苟モ  
不注意ニ依リ係ル不詳事件ヲ惹起スルカ如キ事ナキ樣嚴ニ監

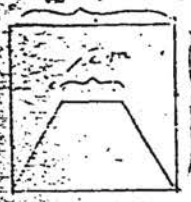
督指導セラレ度

三 一月六日附部隊勤務ヲ命セラレタル成毛軍醫少尉ハ一月七日着隊ス  
四 水崎隊ヨリ左官心得アル兵一名ヲ明九日八時迄ニ經理室前ニ差

出シ武藤主計中尉指シテ受クベシ

五 後方施設ニ關スル内規ヲ別冊ニ編リ定ム

六 白砲與山隊(球一八六〇四部隊)當名腰痛營ニ胸部標識





後方施設ニ關スル内規

昭和二三  
石第三五九六部隊

第一 本規定ハ石第三五九六部隊後方施設ニ必要ナル事項

ヲ定ム

第二 本施設ヲ大和會館(分館ヲ敷島館)ト呼稱シ石第三

五九六部隊(配屬部隊ニ含ム)及特ニ指定スル協同部隊

之ヲ使用ス

第三 會館ノ使用區分左如シ

大和會館 本部 江戸隊 松島隊 天倉隊 須川隊

外山隊 出村隊 患者療養所

敷島會館 伊藤隊 松田隊 水崎隊 橋本隊 作業

隊 通信班 古瀬隊

第四 左ノ各項ニ該當スルモノハ會館ニ出入スルコトヲ得ズ

ハ見初日トシテ

本業基本教育間、初年兵

部隊長又ハ各隊長ニ於テ出入ヲ不適當ト認メタルモノ

第五 會館利用時間ハ其分ニ應ズル、外出時限内トシ正午ヨリ

兵、夕食時限一時間前、下士官ハ點呼時限一時間前迄トス

(營外下士官ハ營内下士官ニ同シ)

尚下士官以下、臨時延刻外出ヲ嚴禁ス

第六 左記委員ヲ設ケ各、其業務ヲ分担セシム

左記

1. 委員長 全般統轄

2. 甲委員 軍紀風紀

3. 乙委員 經理一般

4. 丙委員 衛生一般

第七 會館ヲ利用シテ將校ハ下士官ト下士官ハ兵ト會食スレ

ユトラ禁ス

第八 會食場ノ使用ハ部隊長ク將校團結又ハ地方要人ヲ必要上

招待スル場合ニ限ル



コトヲ禁ス

第八 會食場ノ使用ハ部隊長ク將校團結又ハ地方西女人ヲ必要上

招待スル場合ニ限ル

但シ將校ニシテ會食場ノ使用ヲ是非必要トスル場合ハ利

用目的ヲ明ニシ前日正午迄ニ委員長ノ許ニ申出テ部

隊長ノ認可ヲ受シルモノトス

第九 會館ノ是休日ハ毎月八日及二十三日トシ從業者ノ身體検査

ハ毎週土曜日ノ午前ニ於テ軍醫之ヲ實施スルモノトス

第十 會館使用ニ方ク堅ク左記諸件ヲ嚴守スルモノトス

一 軍紀風紀ヲ嚴正ニスルコト 特局柄地方人ニ惡感作

ヲ及ボササル如ク注意シコト

二 防諜ニ關シ特ニ注意シ軍ノ秘密ヲ漏洩スルガ如キ有害

ナル談話ヲ禁ス

三 禮儀ヲ重ンジ又經營者從業者ニ對シ非常識ナル言

動ヲ爲ササルコト

建築物及備付の器物諸物品ヲ被損シ或ハ使用物品ヲ持出

サザルコト

破損ニ對シテ損害賠償ノ責ヲ負ハシム

第十一 花代龙ノロシ

一時間 兵ニ五〇 下士官ニ三〇 將校(准士官ヲ含ム)ニ五〇

前半夜(二十三時迄) 一〇〇

後半夜(二十三時以後) 一〇〇

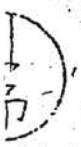
前後半夜(三時迄) 一五〇

將校(准士官ヲ含ム)後半夜三時以後ハ營業セス

第十二 營分ノ間切符制トシ從業員一名ニ對シ一日下士官ニ枚三枚 兵ニ枚三枚

以內トス

切符ハ本部ニ於テ發行シ様式左ノ如シ



一四 經營者ハ前項様式ノ慰安券ヲ携行セサル者ハ出入セシメサル  
モノトス

下士官	慰安券
部隊	第3596號
石第	第
隊印	副官印
兵	同
上	